

**株式会社アエリアとコンセンサス・ベイス株式会社は、
ブロックチェーン技術を利用し発行・流通が可能な
デジタルトレーディングカード『ブロックチェーン・トレカ(仮称)
(ブロックチェーン上で発行・管理するトレーディングカード)』を共同で開発**

IT サービス事業とコンテンツ事業を展開する株式会社アエリア(以下「アエリア」 本社:東京都港区 代表取締役:小林祐介)と、国内で最も古くからブロックチェーン技術の専門企業として事業展開するコンセンサス・ベイス株式会社(以下「当社」 本社:東京都品川区 代表取締役:志茂 博)は、当社が開発を進めていたブロックチェーンのコントラクト(プログラム)をベースに、アエリアグループが事業展開するオンラインゲームのトレーディングカードをブロックチェーン上のデジタルアセットとして登録・発行・流通することが可能なデジタルトレーディングカード『ブロックチェーン・トレカ(仮称)』を共同開発、2017 年 11 月にサービス開始いたします。

現在、トレーディングカードの国内市場規模は 2011 年の段階で 1,000 億円を突破しており、デジタルトレーディングカードの世界市場規模は約 1,400 億円にも上ります。

デジタルトレーディングカードは利用者同士で対戦を行うだけでなく、希少価値の高いカードの収集など利用者の目的は多岐にわたります。そのため利用者同士のカード交換のニーズが存在します。

しかしながら、現状はトレーディングカードをゲーム運営会社のサーバーで管理しているため、カード保有者が自由にカード交換できないなど以下のような課題があります。

- ①ゲームがサービス終了すると、カードもなくなり、カードの価値がゼロになる
- ②ユーザーはあるカードが合計何枚発行されているかわからない
- ③例えば同じキャラクターのカードであれば、カード一枚一枚に区別がない

そこで、このたびアエリアと当社が共同開発するデジタルトレーディングカード『ブロックチェーン・トレカ(仮称)』では、トレーディングカードをゲーム運営会社のサーバーでなく、デジタルアセットを改竄がほぼ不可能なたちで記録・流通できるブロックチェーン技術(イーサリアム ERC20)を利用することで、トレーディングカードをデジタルアセットとして一枚単位で登録・発行・流通し、上記課題を解決いたします。

- ①ゲームサービス終了後も、カードはブロックチェーン上に存在し価値が持続する
- ②カードの発行枚数はブロックチェーン上に開示され、発行枚数を管理することができる
- ③カードの一枚一枚にシリアル番号が付与され、限定カードの発行ができる

アエリアはグループのオンラインゲーム開発・運営ノウハウを活かしトレーディングカードの企画・開発・販売・運営を担当、当社は専門企業として培った技術力をベースにブロックチェーン関連の設計・開発・運用を担当します。

2017 年 11 月より以下トレーディングカードを『ブロックチェーン・トレカ(仮称)』でリリースする予定です。

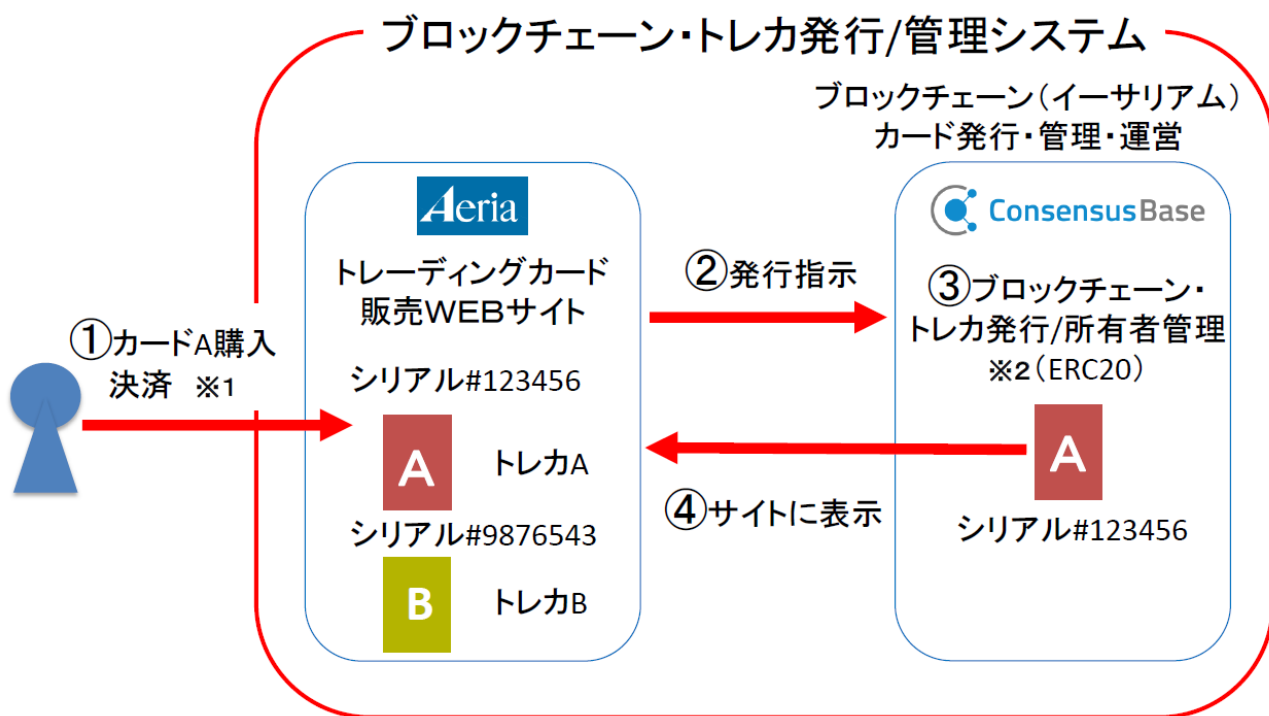
- DYNAMIC CORD
- その他アエリアグループ会社のキャラクターなど

また、『ブロックチェーン・トレカ(仮称)』をデジタルトレーディングカードのプラットフォームとして普及させるため、さまざまなトレーディングカードを『ブロックチェーン・トレカ(仮称)』でリリースできるよう多方面に働きかけていきます。

さらに、アエリアと当社の協業範囲を拡大し、ブロックチェーンを利用したオンラインゲーム内通貨を共同開発・リリースすることで、『ブロックチェーン・トレカ(仮称)』のデジタルトレーディングカードの流通を促進し、かつオンラインゲームの共通通貨として利用されるようなゲーム通貨の ICO も視野に入れ事業展開していきます。

<サービス概要>

ブロックチェーン・トレカ(仮称)概要図



※1 : 決済方法はビットコイン、イーサリアム、クレジットカードを予定

※2 : カードには、シリアル番号を付与し、ブロックチェーン上で管理・運営

<本件に関するお問い合わせ>

コンセンサス・ベース株式会社

広報担当 深沢